

【提言要旨】「WE LOVE KANSAI MISSION COMMUNITY」～LKMCによる関西エコシステムの構築～

はじめに

関西は、戦後復興と高度経済成長以降、政治・経済諸機能の首都圏への一極集中や企業による生産拠点のアジア地域への移転が進み、経済の地盤沈下や産業の空洞化が叫ばれるようになった。
関西の持つポテンシャルの最大化と課題点の解決を行い、「ヒト」「モノ」「カネ」の活性化の好循環を起こすための「LKMCによる関西エコシステムの構築 ～WE LOVE KANSAI MISSION COMMUNITY創設～」を提言する

本提言における「関西の活性化」の定義

永続的にヒト(企業・住人・観光客等)が集まり、モノ(新しい事業や製品(コトを含む))を生み出し、カネ(税金や企業による投資、観光客の売上等)がたくさん集まることで、関西の魅力が高まり、更なる「ヒト」「モノ」「カネ」が集まるという好循環が起こっている状態

関西の強みと課題

【強み】

- (1) 活性化のベースとなる一定規模以上の域内人口
- (2) 企業や大学等を中心とした多様な技術的基盤や人的資源
- (3) 各都市独自の多様な観光資源

【課題】

これら結びつけてイノベーションを起こすことで新たな需要を創造するといった活動やイノベーションを永続的に起こす仕組みに乏しいため、有している強みを活かしてきれていない

関西の活性化のための戦略

多様な人材がつながることでイノベーションを創造する循環モデル「エコシステム」の構築

→エコシステムによりイノベーションが起こり、その過程で人材が育成され、経済的・人的な支援が継続的に行われることで活性化を実現

3つのキーワード



※現状は「①多様性」は有しているが、「②つながり」が十分に機能しておらず、「③イノベーション」が起こりにくい状態と仮説

【具体案骨子】エコシステムの核となる組織「WE LOVE KANSAI MISSION COMMUNITY (LKMC)」の設立

- ✓ 複数企業から人材を派遣し合い、分野を限ることなく関西経済が活性化するための活動に取り組むとともに、各企業にとってメリットのある事業テーマを立案・実現
- ✓ 活動を通じて新しいシーズや人材を育て、更にはその結果として生まれた資金や人的資源を次のシーズの育成に繋げていく

運営は、サイバー適塾15期「関西の活性化グループ」が主体となって取り組む

※ただし、本提言を実行していく上で複数の企業からなる団体からの支援は必要不可欠である。

LKMC具体策

3つの目的と役割

- ① 関西の活性化に向けた課題(テーマ)の抽出 & 事業化の実現
- ② LKMCの活動経験者がメンターや資金供給者となり、更なる関西の活性化に貢献する、という好循環(エコシステム)のハブ的機能
- ③ 企業から派遣される社員が、本業でより活躍できる(イノベーション)人材へと育成する教育機能

主な組織構成

理事会、推進委員会及び作業部会から構成される一般社団法人
※原則、推進委員会、作業部会の参加企業構成員は「専任」として従事

推進委員会=LKMC運営の中核を担う(高度な自治権を付与)

【構成人数】委員長を中心として10～12名程度

【資格条件】

- ・関西の団体・企業より、関西を活性化させたいという強い想いとイノベーションを起こしたいという意欲を持つ人
- ・派遣元企業において、最低10年以上の勤務経験者※原則

部会の推進全般に関するサポート

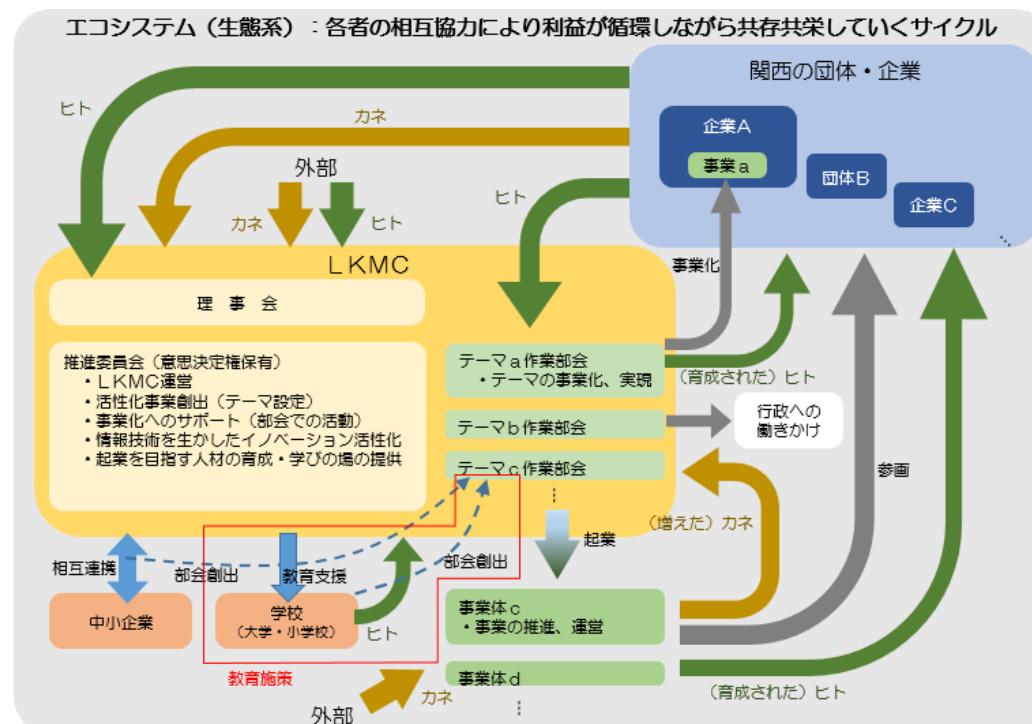
作業部会=付与されたテーマの事業化実現を担う

【構成人数】(1テーマにつき)4～5名程度

【従事期間】6カ月から1年程度

【資格条件】関西の団体・企業より、当該テーマに関心を持つ人

※なお、当該テーマの関心者で関西地域から一般公募を行い、構成員に加えるケースも想定



将来的に関西の活性化を担う人材の育成

1. サイバー適塾キッズ(仮称)(対象:小学生)

- ・委員会が運営し、小学校の授業のカリキュラムの一環として実施
- ・小学校5年生を対象
- ・課題認識・解決といった実際の社会人が業務で培ったノウハウ等をもって、社会とのつながりを意識する力、自ら考える力を養成していくプログラム

2. 産学共同の新規事業立ち上げプログラム(対象:大学生)

- ・委員会が大学のゼミと共同で推進
- ・就職活動を控える大学2～3年生を対象
- ・地域社会の活性化をテーマとした新規事業の提案の体験や起業に至るプロセスを学習するプログラム

活動内容

a. 活性化事業創出(テーマ設定)

- ・LKMCの委員会の構成員で、関西の活性化を目的に、関西における多様な資源に目を向け、課題を抽出しテーマを設定
- ・具体的には、ベンチャー育成を含めた産業の振興、観光資源や伝統文化の発信・利用、まちづくりといった様々な分野における強みや課題を繋ぎ合わせることで関西の活性化に資する内容全般に関わるものを取り扱う
- ・様々な団体が実施しているビジネスマッチングなどの活動に横串を通し、スケールメリットの享受や効率化も図る

b. 事業化へのサポート(部会での活動)

- ・委員会が前述で設定したテーマを検討する部会を立ち上げ、当該部会にて事業化に向けた取組みを行う
- ・各部会の構成員は一定の期限(6ヶ月から1年)を定めて、短期集中型でアイデアの事業化に向けた活動を行う

c. 情報技術を活かしたイノベーションの活性化

- ・関西の中小企業や観光等の産業、情報技術者、LKMC(委員会)が交流することによって、付加価値を生む新しい製品やサービスを生み出し、事業化する仕組みを構築する

d. 起業を目指す人材の育成・学びの場の提供

- ・LKMC(委員会や部会の構成員)の持つ人脈や課題認識・解決に関するノウハウ等を活かし、起業家精神を持った、イノベーションを起こす人材を育成するための活動を行う

※概要は左記

「将来的に関西の活性化を担う人材の育成」の通り